

科目区分	専門分野			科目番号	1409	曜日時間	
授業科目	成人看護学実習						
単位数	2 単位	時間	90 時間	開講時期	3年次	授業形態	臨地実習
担当教員	長谷川 ゆかり						
授業目的	生命に直結する物質のやり取りが障害された患者を理解し、危機的状況に応じた生活を整えていく援助を学ぶ。						
中核	予測と回避						
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生命の危機的状態にある患者の特徴が理解できる。 2. 生命の危機的状態にある患者の思いが理解できる。 3. 生命の危機的状況に陥った患者の状態が理解できる。 4. 急激な身体機能の変化に応じた援助ができる。 5. 苦痛のコントロールができる。 6. 生命の危機的状態にある患者の看護の役割が理解できる。 7. 実習を振り返り生命の危機的状態にある患者にとっての看護の意義を明らかにする。 						
授業の内容と方法	日	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
		<p>病棟の一日の流れと病棟の特徴を知る</p> <p>物質のやり取りが生命に直結することを理解する</p> <p>生命の危機的状態にある対象を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体像を把握する・立体像を把握する ・外科的侵襲を受ける対象を把握する ・救命処置を受ける対象を把握する ・ターミナル期にある対象を理解する <p>生命の危機的状態にある対象の問題点を抽出する</p> <p>急激な状態の悪化を予測した援助を理解する</p> <p>対象の身体的苦痛を回避する援助を行う</p> <p>対象の精神的苦痛を回避する援助を行う</p> <p>生命維持にむけた医療チームの連携を理解する</p> <p>生命の危機的状態にある対象の意思決定を支援する援助を理解する</p> <p>対象の回復過程に応じた援助を理解する</p> <p>死生観を深める</p> <p>カンファレンスを通して実習メンバーの受け持ち患者の看護内容について情報交換し理解を深める</p>	臨地実習	90	各担当教員	実践活動の病院84時間の実習6時間	
終了後課題	受け持ち患者に必要なレポート						
評価計画方法	臨地実習の援助内容・態度を評価表で評価						
テキスト参考図書	既習したすべてのテキスト						
実務歴有	看護師：病院勤務 20年 看護教員：学校勤務 1年						
講義への反映	看護師としての経験を活かし、状況に即した実習を展開する						
備考	学内実習（実践活動の場以外の実習）の詳細に関しては実習要項に記載あり						